



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■ 事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■ 例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■ 例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：大久保健蔵 幹事：八幡 恭朗 発行：会報・広報委員会

第 3087 例会 (24号) 2018 年 1 月 18 日 (木) 晴

職業奉仕委員会卓話 SPEECH

四つのテストと職業奉仕



国際ロータリー第 2530 地区職業倫理委員会
委員長 上村直人氏
(いわき常磐 RC)

多くのロータリアンが「職業奉仕とは何だろう？」と理解に悩むことが多いようです。大橋廣治パスト

ガバナーは「ロータリアンの職業奉仕は自分の会社をつぶさずに、そのうえでクラブの中で奉仕活動することです」と言われます。一理あると思います。今回は「四つのテスト」についてお話します。四つのテストは職業奉仕から出てきたものだと理解してください。

四つのテストはハーバード・テラー氏が1932年につくりました。テラー氏は1940年にシカゴロータリークラブの会長を務め、1943年に R I の理事会の認証を得て四つのテストが職業奉仕のプログラムに入れられています。1954年にテラー氏が RI 会長に就任した時、四つのテストの著作権をロータリーに委譲しました。

もともと四つのテストは、テラー氏がつぶれそうな会社を救おうという目的でつくられたのです。大恐慌に見舞われ、会社経営が困難な時代にテラー氏は、多額の負債を抱えたアルミニウム製品会社の立て直しを依頼されました。誰もが再建は難しいと感じていたのに、テラー氏は「これは神が望まれ、私にお示しになった道だ」と信じて、会社経営に当たることにしました。

第一にしたことは、どのような商売をするかと考えるより、高邁な倫理と道徳にもとづいた会社の経営方針を固めることでした。会社の全員が暗記できて、取引の際の考え、営業、行い、すべての面に利用できる倫理基準を必要としました。

テラー氏が悩みながら、神に祈り、書き付けたのが「1、真実かどうか 2、みんなに公平か 3、好意と友情を深めるか 4、みんなのためになるか

どうか」でした。彼は「四つのテスト」と呼び、考えたり、言ったり、行ったりする際の指針にしました。これを経営陣はもちろん社員に徹底させることで会社は借金を5年で返済し、さらに巨額の利益を得るようになりました。

実はテラー氏を書いた四つのテストは、旧約聖書に出て来る偉大な予言者の一人、エルミア書の第9章22、23節に書かれていたのです。そこには、真実、公平（正義）、隣人愛といった永遠の宝が隠されており「四つのテスト」が私生活と仕事の両面にわたって役立つことになるわけです。

四つのテストの解釈には、以前から様々な説があります。日本語訳をされたのは東京クラブの本田親男氏で、日本人ロータリアンが座右の銘として親しんだ名訳です。その一方でテラー氏の意図が完全に訳されていないと指摘する説もあります。倒産しかけた会社を再建する目的であったのなら商取引に関連してつくられたという説も考えられますが、ロータリー会員には必ずしも商取引にかかわる職業ではない人もいることから、ロータリアンの日常生活のすべての言行に適用できる邦訳の方が適切と考えられます。

ただ、商取引に関連する新しい解釈も決して職業奉仕に当てはまらないことはありません。兵庫県のパストガバナーで R I 理事も務められた田中毅氏の解釈では、職業人としてのロータリアンの心構えを一般の職業人も理解できるよう簡潔にまとめたもので、四通りの基準を一つずつクリアするのではなく、四つまとめたものを一つの基準にしてクリアすることだと言います。

真実かどうかは、商品の品質、納期、契約条件などすべてに嘘偽りがないかという非常に大切な基準です。みんなに公平かは、公平ではなく公正と訳すべきで、不正なものは排除する考えを持つよう訴えます。好意と友情を深めるかは、信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き、取引先を増やすかどうかを問います。そして、みんなのためになるかどうかは、公正な取引によって、すべての取引先に利益をもたらすかと解釈します。常に四つのテストを念頭に行動することは、すべての人々の幸福、利益につながる奉仕と考えていきましょう。



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリー：変化をもたらす」

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

司会：八幡幹事

〔点鐘・国歌斉唱・ロータリーソング（我等の生業）・ロータリーの目的（新妻純男会員）・四つのテスト（新田俊彦会員）〕

新妻純男会員



新田俊彦会員



◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

○国際ロータリー第2530地区職業倫理委員会委員長・上村直人様（いわき常磐RC）

★結婚祝



原田 徹さん
(1月14日)

★誕生祝



勝田 博志さん
(1月1日)



有賀 行秀さん
(1月2日)



新田 俊彦さん
(1月9日)



小野寺 順正さん
(1月13日)

ハッピーバースデーソング斉唱

◆会長挨拶ならびに報告



本日は2018年の通常の例会では最初になります。多くのご出席をいただき、ありがとうございます。皆さんの協力を得て、あと半年、頑張っております。

今年度は合わせて45回の例会を予定しています。あと21回ありますが、残り10回を過ぎるころには、きっと私の肌つやも良くなっていることでしょう。

皆さんの下へ昨日、いわき分区のインターシティミーティング（IM）の案内を送りました。2月24日（土）にパレスいわやで開催されます。分区の会員が一堂に会して、語り合い、親睦を深める機会です。ぜひ全員の出席をよろしくお願いいたします。

ご報告があります。12月21日の年忘れ家族会で集めた募金のうち、いわき民報社を通じて贈った寄付に対し、いわき福音協会より感謝状をいただきました。

◆幹事報告

○いわき桜RCより1月プログラム予定表が届きました。
○郡山RCより会報が届きました。

◆表彰・感謝状◆

○マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

大久保 健 蔵 会員 1回
越 智 正 典 会員 2回
鈴 木 東 雄 会員 2回



大久保 会員



越智 会員



鈴木 会員

◆年男への干支ボトル贈呈

山野辺 倉 平 会員



山野辺 会員

委員会報告

◆出席委員会（竹内和洋副委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メークアップ数
1月18日	51名	33名	—

◆雑誌委員会（黒須幸雄委員長）

○ロータリーの友1月号 見どころ読みどころ

横組 職業奉仕月間特集

8～15ページ 職業奉仕について考える 他

24～25ページ 続けよう復興支援！「福島マルシェ」初開催

34ページ 第2530地区・地区大会の略報

縦組 9～12ページ クラブを訪ねて「飯坂ロータリークラブ」

22ページ ロータリーアットワーク「心はいつも故郷に」

吉田昂城君ピアノ独奏会

◆スマイルボックス委員会（安武誠司委員長）

♥いわき常磐RC上村直人さん（本日はよろしくお願
いします）♥大久保健蔵さん（上村委員長卓話よろしく
お願いいたします）♥八幡恭朗さん（上村委員長卓
話よろしくお願いいたします）♥原田徹さん（結婚祝
ありがとうございます）♥勝田博志さん（誕生祝あり
がとうございます）♥有賀行秀さん（誕生祝ありが
とうございます）♥新田俊彦さん（誕生祝ありが
とうございます）♥山野辺倉平さん（今年もよろしくお願
いします）♥関口武司さん（上村委員長、卓話よろしく
お願いいたします）♥佐々木貢一さん（上村様卓話よろ
しくお願いいたします）♥三瓶和秀さん（上村さん本日
卓話よろしくお願います。お互い体を大切にしましょ
う）♥松崎浩さん（上村さん卓話よろしくお願います）
♥飯野光世さん（上村地区委員長を歓迎して）♥浅倉
哲也さん（上村様を歓迎して。卓話よろしくお願
いします）
以上14件

★本日の例会案内 1月25日（木）12：30～

第4回クラブ協議会「戦略計画委員会」

お食事メニュー＝子牛のカツレツ ミラノ風

★次回の例会案内 2月1日（木）12：30～

国際奉仕委員会担当卓話

松村耕三国際奉仕委員会 副委員長